

本年度の指導の重点	努力目標・成果目標（数値目標）
小中一貫教育の実践 小中一貫教育研究実践校として、小中の一貫した指導計画、指導方法等を開発、教員の資質向上を図り、授業改善を目指します。	〔努力目標〕 これまでの小中一貫教育の研究成果を生かし、汐入小、汐入東小と連携し、交換授業を含めた授業改善、各分野の9年間の指導計画の実践と検証を行います。 〔成果目標〕 小中一貫教育の9年間の指導計画、指導方法を開発し、指導方法や工夫改善点については、年度末までに実践事例をまとめ、冊子として公表する。ホームページ上でもその成果を公表します。
キャリア教育の推進 キャリア教育の充実により「学ぶ意識」の向上を図ります。	〔努力目標〕 本校のキャリア教育の特色として、「5日間の勤労留学」を中心に据えて、「校内ハローワーク」「おもしろ探究授業」等、外部人材を活用し、学ぶ意欲に結びつく行事を実践する。この取り組みは常に地域、保護者に公開します。 〔成果目標〕 学力向上調査の意識調査で、全ての項目で前年度数値の<u>2ポイント上</u>を目指します。数値を公表します。
不登校ゼロへの取り組み 外部人材、教職員の協働により授業規律の確立及び不登校生徒へ多様な対応をします。	〔努力目標〕 全ての基本は授業であり、生活指導部を中心に授業規律の確立に努めます。不登校生徒に対する支援を強化し、カウンセラーを交えケース会議を中心に改善に向けた取り組みを進める。 〔成果目標〕 外部人材、校内組織を機能させ、年度末までに<u>不登校0</u>を目指します。
基礎学力の定着 基礎学力の定着、発展を図る。到達度の下位層のレベルアップを図ります。	〔努力目標〕 外部人材を活用したティーチングアシスタントによる授業の支援を実施します。 〔成果目標〕 21年度学力向上調査（活用）の達成率を前年度比全ての教科で<u>2ポイント上</u>回ることを目指します。学力向上調査の結果比較により、細部にわたる到達度の変化を公表します。
学習習慣の確立 家庭での学習習慣を定着させる。	〔努力目標〕 本校独自の学習計画帳を作成し、年間を通じて学習習慣の定着をきめ細かくチェックする。学習習慣の定着を学習計画帳により進行管理する 〔成果目標〕 年度末にアンケートにより、前年度との家庭学習時間の比較、教科担任との相談時間の増減等細部にわたり調査し、その変容について公表する。家庭学習時間1.3倍増を目指す。

補習による学力向上 放課後、長期休業中に補習を徹底し、各レベルに応じた指導を展開します。	〔努力目標〕 外部人材を活用と教職員の協力で補習教室を強化します。きめ細かい指導により各到達度に応じた学力の向上を図ります。 今年度も「夜間三中てらこや」を年間60日以上実施します。 〔成果目標〕 成績の二極分化の解消、学年格差是正を目標とします。 荒川区学力向上調査（活用）の結果で数値を公表します。達成率本校前年度比2ポイント増を目指します。
各種検定による学力向上 検定教材を充実させ、補習活動に活用する中で、検定試験に挑戦させ、学力向上を図ります。	〔努力目標〕 学力向上の柱として、これまで以上に多くの生徒を各種検定に挑戦させます。準備の段階で、補習活動に取り組みせ、検定合格者数増加とともに学力向上に向けその過程を重視します。 〔成果目標〕 各種検定（英検、漢検、数検等）のそれぞれで<u>受験者数45人以上</u>を目指します。また、地元小学校児童、保護者の補習参加、受験参加を一層奨励し、向上心を共有化します。 検定結果を公表し、前年度比で<u>120%</u>の合格者を目指す。
図書館活用による 言語力の育成 図書館の書籍のさらなる充実を図り、授業での活用を推進します。	〔努力目標〕 図書館の充実を一層図り、図書館利用率、図書貸し出し率を上げ言語力向上を目指す。各授業での計画的な活用を実施します。 図書館指導員とのコラボ授業を全教科で実施します。 〔成果目標〕 図書館を<u>年間220日以上開館</u>します。図書館利用者数、書籍貸し出し数を<u>21年度比の150%</u>、貸し出し冊数月刊<u>100冊以上</u>を目指す。授業での実施状況をホームページで公表します。
特別支援教育の推進 個に応じたきめ細かい指導を行います。	〔努力目標〕 特別支援教育コーディネーターを中心に組織的に特別支援の生徒への支援を強化する。 〔成果目標〕 「個別の指導計画」を作成し、個に応じた教育を進める。 生徒のニーズに合わせた指導や支援をするために特別支援コーディネーターを中心とする校内委員会を学期に1回以上設定し、検討する機会を設ける。
教員の授業力向上推進 チャレンジする教師を育成します。 (外部研修への参加) (校内研修の推進) (外部研修会への参加)	〔努力目標〕 年間10回以上の研究授業を実施し、外部講師による指導・助言を受け教員の授業力の向上を図る。都教委主催等の外部研修に90%以上の教員が参加する。 〔成果目標〕 月に1回のペースで研究授業を進める。各自の課題解決につなげるために選択課題研修や区主催の研修会への参加、その他外部の研修、研究発表会等に全教員1回以上参加させる。